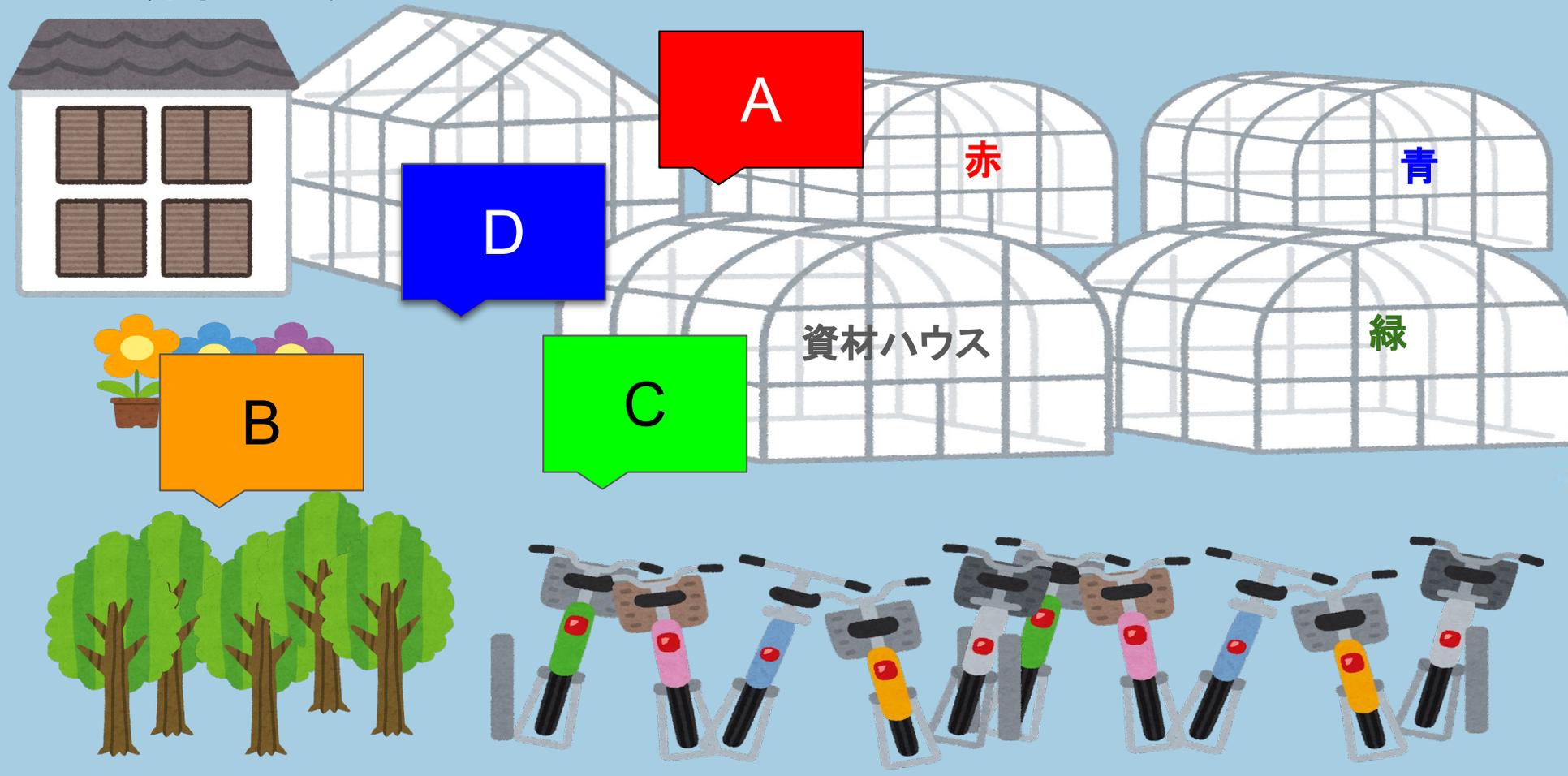


サンパチエンスの一生

《観察1》光



2週間どこに場所を変えて観察

■ **A** → +

■ **B** → +

■ **C** → + + +

■ **D** → + +

しかし、、、
Dでよく育った

評価基準

- ・光がよく当たる「+++」
- ・時間帯によっては当たりにくい「++」
- ・光が当たる時間が限られている「+」

《観察2》冠水

1. 朝のみ
2. 夕方のみ
3. 朝＋夕方(多め)
4. 朝＋夕方(少なめ)



5日間ごとに冠水方法を変えて観察(朝と夕方に観察)

1. +
2. ++
3. +++
4. +++

しかし、、、
2より1の方が育った
また、、、
3より4の方が育った

評価基準

- 次の日には水が足りていない「+」
- 次の日は少し湿っている
- 植物に十分に水かいきわたっている

《観察3》育てた土の土壌診断と比較

1. 他のスイートハートの土「浅いところ」
2. 他のスイートハートの土「深いところ」
3. 自分のスイートハートの土「浅いところ」
4. 自分のスイートハートの土「深いところ」
5. 使用済みの培養土

※おしらべモグラの土壌診断方法を使用したものである。

結果

弱酸性を示している

2

3

4

5

アンモニア
態窒素

カリウム

リン酸

硝酸態窒素

0.75

0.05

1.5

0.2

0.65

使用済みの培養土は高い
値を示している

0.49

5.05

0.75

0.05

1.5

0.15

0.95

0.75

1.6

0.25

考察

《観察1》から



夏の直射日光にも強い植物ではあるが、日光が当たりすぎると蒸散量が増え花や葉が萎れる。また、一日中に日陰になるところは光合成があまり行われないため花が咲きにくくなる。

考察



《観察2》から

- ・水のやりすぎはよくない。根を生育させるためには根に酸素を与えることが大切。そのため、常に湿っている状態にするのではなく鉢の表面がある程度乾いた状態になったときに冠水するのが適切。鉢の下から水が出てくるまで与えるのが適切。
- ・夕方だけに冠水をしてしまうと夜に成長する根に水がたまり根腐れを起こし生育しにくくなる。また、ナメクジなどの害虫の発生原因になる。

考察



《観察3》から

- ・サンパチェンスは中性に近い弱酸性6.6～5.5を好む。そのため、私たちのサンパチェンスが大きく育った。
- ・私たちが使用していた(5)使用済みの培養土は基本的な養分の含有量が多く栄養化の高い土だったため大きく成長したのではないか。

他のチームと比べて

・摘蕾

→コンテストに満開で出すためには一か月前まで行うことが適切

・摘葉

→黄色く変色した葉は光合成ができないためその葉に余分な養分が いか
かないよう取り除くことが適切

・液肥

→サイズを大きくするには2週間に一回程度の施肥が適切

感想

初めて植物を一から育てて、難しいこともあったけど大きく綺麗に育ってよかったと思う。ペアに頼り過ぎていた部分もあるので、この反省を生かして次からの実習に取り組もうと思う。

夏休みの期間も毎日学校へ行き観察に行ったり手入れをしたりした。サンパチェンスを育てる中で胃の尊さや植物を育てる大変さを改めて学べて良かった。今回のコンテストは大雨の影響で中止となり不完全燃焼で終わってしまいましたが来年も挑戦しいい成績を残せるように頑張ります。

ご清聴ありがとうございました

